

鶴岡市消防団藤島方面隊広報誌

ひのみやくら

No.32

平成26年3月

発行

鶴岡市消防団藤島方面隊
広報委員会

東京ドームでの式典で行われた「祝賀放水」



消すまでは 心の警報 ONのまま

(平成25年度 全国統一防火標語)

東京ドームで
盛大に

平成二十五年十一月二十五日(月)、消防団百二十年・自治体消防六十五周年記念大会が東京ドームに於いて開催されました。

藤島方面隊からは、富樫方面隊長を筆頭に九名の団員が参加しました。

全国各地から約三万七千人の消防団員が参加し、天皇家后両陛下ご臨席のもと盛大に執り行われました。

また、日本消防協会会長、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官など多くの方々も参列され、日ごろの消防活動に対する感謝の言葉をいただきました。

この記念大会に参加して、改めて今日までのわが国の消防の発展の道のりを振り返るとともに、我々消防団がより一層強い団結のもと更に精進を重ね「自分たちの地域は自分たちで守る」という故郷を大切に思う気持ちを胸に、消防団員一丸となって防災活動に邁進していくことと決意を新たにしました。

藤島地域総合防災訓練

毎年行われている総合防災訓練が、平成二十五年九月八日、大地震を想定し八年ぶりに長沼地区で行われました。参加団体のご協力を得て本番さながらの訓練に取り組んでいただきました。

長沼小学校・自主防災会の避難訓練を始めに、バケツリレーや消火器による初期消火訓練、情報伝達訓練、鶴岡消防救助隊の交通事故救出訓練、消防団員の指導の下、応急手当などの救急・搬送訓練、消防団の火災防ぎよ・延焼阻止訓練などが行われました。救出訓練や火災防ぎよ訓練では、迅速に活動する様子を拍手が沸き、婦人防火クラブの給食訓練では参加者におにぎりが配給されました。

今回の訓練で、参加者全員が有事に備え一層の防災意識を高めたことでしょう。



長沼小学校の一斉避難

「がんばった

ぼうさいくんねん」

二年 板垣 京吾

ちいきの人たちとしんがおきたということではぼうさいくんねんをしました。いつもひなんくんねんと同じようにつくえの下にかくれました。「お・は・し・も」のやくそくをし、ちゅう車場にひなんしました。たくさんの人がいてきんちようしましたが、しんけんにできました。三年生いじょうの人が火をけすのをけんがくしました。

声をかけあって上手にバケツをわたしていました。いちばんびつくりしたのは、車から出られない人をたすけることです。大きなきかいで車のドアを壊すのは、すごいなあとおもいました。



6年生による消火訓練

「力をあわせて

ぼうさいくんねん」

二年 岩波すみれ

九月八日、長沼ちくでぼうさいくんねんがありました。私たち小学生だけでなく、たくさんのちくの人といっしょにくんねんしました。

平成二十五年

藤島方面隊の動き

平成二十五年

四月 十三日 鶴岡市消防団入団式

二十一日 藤島方面隊初任団員研修



小隊訓練の様子

五月二十五日 藤島方面隊春季消防訓練

二十六日 鶴岡市消防団春季消防演習

六月 十五日 鶴岡市水防訓練

七月 七日 藤島方面隊消防操法大会



優勝した八色木上区班 (4-1-1)



バケツリレーによる消火訓練

しょう火くんれんでは上きゅう生が大人といっしょにバケツリレーで火をけしてすこいなあと思いました。

いちばんびっくりしたのは、じこであかなくなった車のドアを、しょうぼうしさんが大きなきかいをつかってあけたところ。リーダーが「おう。」と声をかけたかと思うと、たいいんが、ゆあつジャッキとカッターをとりだして、すぐくみじかい時間であけていたので、たくさんくんれんしたんだなあと思いました。

「学校でぼうしくんれん
をしたよ」

三年 百瀬 寧々

長沼小学校のまわりでぼうしくんれんをしました。地

しんで学校のちゆう車場にひなんしたり、火事とき「火事だー」というれんしゅうをしました。四・五年生はバケツリレー、六年生は消火きをつかって火を消していました。しょうぼうの人が水をかけたり、車から人を助けたり、いろいろなくんれんをしました。

わたしも、本当に災害が起きたら、大きな声をだしたいです。



救助隊による救出訓練

「ぼうし訓練」

四年 阿部 高史

学校でぼうし訓練がありました。一時でぼうしがついて、みんなつくえの下にか



自主防災会による避難訓練



消防団による火災防ぎょ訓練

くれました。
そのあと、ぜんいん外にひなんしました。さいしよは、プー
ルがわで火を消す訓練をしました。さいごに、車から人を助け出す訓練では、さみだいなもので車のドアをあけてすこいなあと思いました。

十七日 柳久瀬・鷺畑地内にて大雨による

藤島川・京田川の越水被害



藤島川越水により冠水した
水田・市道(柳久瀬地内)

八月 四日 消防操法庄内支部大会

(代表：八色木上区 第八位)

九月 一日 県・鶴岡市合同総合防災訓練

八月 八日 藤島地域総合防災訓練

十月 九日 消防団百二十年・

自治体消防六十五周年記念 山形県民大会

二十六日 消防ポンプ引渡し式

(小型ポンプ：四台)(普通積載車：一台)

(軽積載車：一台)計：六台更新

十一月二十五日 消防団百二十年・

自治体消防六十五周年記念 全国大会

(東京ドーム)

平成二十六年

一月 四日 藤島地域消防安全祈願祭



新規に更新した梯子披露
(安全祈願祭にて)

おらほの消防団

第五分団第一部第三班
(和名川・砂塚)

班長 高橋和久



班を合併して、今年で十一年目となりました。伝統を受け継ぎ、和名川5名、砂塚3名の精鋭8名で活動しています。近年、火災だけでなく自然災害に対する対応も求められています。個々が同じレベルで活動できるように定期的に訓練を行い地域貢献に努めます。

第五分団第二部第四班
(大 半 田)

班長 佐藤 巧



私たちの班は、若手の精鋭8名で活動し地域密着に心がけています。火災予防にあつては、各家庭を回りの「火の用心」を呼びかけ、班員の顔を覚えてもらい、気軽に声をかけてもらえような班、活動を目指していきたいと思っています。

女性消防団員より

災害に備えて

三年前の東日本大震災の後、「防災袋」を準備した方が多いと思います。その後の管理はできていますか？食品の賞味期限切れや懐中電灯の乾電池に錆びはありませんか？改めて防災グッズを確認してみましょう。

- ① 常時携帯品【災害に備え普段から携帯したい物品】
- ◆ ペットボトル飲料 ◆ 小銭 ◆ チョコや飴などの菓子類 ◆ 持病の薬 ◆ 絆創膏・マスクなど
- ② 非常持出品【玄関などに置く 重さ5キロ位まで】
- ◆ 懐中電灯 ◆ 乾電池(数種類)
- ◆ ライター ◆ 大きめのゴミ袋
- ◆ 古新聞 ◆ 手ぬぐい ◆ 軍手 ◆ カイロ ◆ 塩ビラップ ◆ ウェットティッシュ ◆ ガムテープ ◆ ドライバーセットなど
- ③ 備蓄品【一箇所にまとめておく】
- ◆ 保存食(三〜五年賞味のもの)
- ◆ 簡易トイレ(代用でき

るもの) ◆ 針金・ペンチ ◆ バスタオル ◆ 飲料水(一人あたり一日三リットルの水) ◆ 身分証明など

年に一度は、必要な物品の点検・入替・補充をお願いいたします。日常生活の負担にならない程度に備えてください。

女性消防団員募集

鶴岡市消防団では、十八歳以上の地域防災に関心のある女性消防団員を募集しております。

男性団員とは異なり、防火啓発活動・救命救命講習などを行っています。

県内・全国で活躍している女性消防団員との交流もあり、更に活動の幅を広げたいと考えております。一緒に活動しませんか。

◎問い合わせ

鶴岡市消防本部 警防課
TEL 22-03320

編集後記

日頃より、消防団活動にご理解ご協力頂きまして心より感謝申し上げます。

平成二十五年度を振り返ってみると、火災や風水害など多くの災害がありました。災害はいつ発生するかわかりません。平素から、少しでも災害に備える心がけが大切ではないかと感じております。安心して暮らせる地域づくりのため、団員一丸となって取り組んでまいります。今後ともご支援をお願い致します。

編集委員

- 広報委員長 ■ 佐藤 広典
- 広報委員 ■ 阿部 雅弘、渡部 寛規、高橋 剛、富樫 秀一、菅原 悟、太田 奏、叶野 哲、石井 光明、今野 瑞輝、栗本 隆司、工藤 勇人、富樫 隼、佐藤 巧、阿部 秀勝、伊藤 輝子、庄司 裕美、渡部 智和